

## 令和4年度 第3回 文化財保護委員会会議録

- 日時: 令和5年3月23日(木)午後7時から午後8時30分
- 場所: 宮代町郷土資料館 2 階会議室兼資料取扱室
- 出席者: 島村圭一委員長、新井浩文委員、長谷川清一委員、青木秀雄委員、  
中村豊委員、荒木謙勝委員、柿崎孝慈委員  
新井庸一室長、横内美穂主査、木本和志主事、齋藤由美子主事
- 欠席者: 中村誠二副委員長
- 傍聴者: 0名

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶
- 3 議 題
  - (1) 令和4年度事業報告
  - (2) 新規指定文化財候補について
  - (3) 来年度事業について
  - (4) その他
- 4 その他
  - (1) その他
  - (2) 企画展「宮代と用悪水～引く、溜める、流す～」見学

### 会議概要

- 令和4年度事業報告  
当該年度の事業報告及び質疑
- 新規指定文化財候補に関する意見交換  
東叡原鷲宮神社獅子舞の用具について意見交換、  
その他新規指定に関する意見交換を行った。
- 令和4年度第3回企画展「宮代と用悪水～引く、溜める、流す～」について  
展示の見学及び担当学芸員より解説を行った。
- その他

### 会議録

新井室長                    令和4年度第3回文化財保護委員会会議をはじめさせていただきます。会議に先立ちまして、委員長より挨拶をお願いいたします。

島村委員長 【あいさつ】  
新井室長 議事進行につきましては、委員長にお願いいたします。  
島村委員長 では、次第に沿って会議を進めてまいります。  
最初は令和4年度の事業報告となります。  
事務局からお願いいたします。

事務局 【令和4年度事業報告説明】  
島村委員長 全体を通してでも結構ですので、事務局の事業報告について、何かご意見のある方はいらっしゃいますか。  
長谷川委員 埋蔵文化財の発掘調査に関することですが、本調査は0件とのことでした。試掘を6件行ったとのことですが、その内訳はどのようになっていますか。  
遺構の確認などはできたのでしょうか。  
横内主査 6件のうち、5件は遺構を確認できませんでした。残り1件は、確認できない程に矮小なため、立ち合いとなりました  
新井委員 博物館法改正に絡めて質問しますが、他の課との連携した動きなどはありますか。西原自然の森フェスタを行ったとのことですが、どこの課との連携で、経費などはどこが持っていましたか。  
横内主査 他の課と連携した動きは特にはございません。西原自然の森フェスタは、教育委員会、環境資源課、福祉課そして子育て支援課、健康介護課、社協との連携した企画です。費用は各課持ちです。  
新井委員 今後も他の課と連携をして事業を行うことが必要になるかと思います。現在、博物館法の改正で、観光関係などとの連携が期待されています。観光関係の課と連携はありますか。  
横内主査 現在はありません。  
島村委員長 コロナ禍に入ってから3年が経ちましたが、今年度後半くらいから収束の兆しがありました。資料館の事業でも、コロナ禍で行っていなかった事業やそれを復活させた事業などはありますか。  
横内主査 例年に夏休みに行っていた土器焼きが行えておりません。また、コロナとの直接的な関係はないかもしれませんが、特別展の関連講座も行えておりません。資料作成後であったため、配布資料には反映しておりませんが、3月12日に歴史講座を行いました。講師に民俗学者の板垣時夫氏をお呼びし、「東部地区の民俗行事・芸能―獅子舞・神楽など―」と題しまして、ご講演いただきました。コロナ禍は10名と少しでしたが、今回は15名にご参加いただきまして、講座に対する期待も回復傾向にあるとうかがえます。来年度は土器焼きなども行っていきたく思います。

島村委員長 須賀小学校は出前講座のみで、来館することはしなかったのでしょうか。  
横内主査 コロナに対する不安や安全面などの観点から、来館するまでには至れなかつ

たようです。来館を望まれていましたが、出前講座に変わりました。

島村委員長 出前講座という形で資料館のことを知る機会を作ることは、実際に来館すると  
もっと良いということを感じてもらえる機会になりますね。

新井委員 「真蔵院の版木」の展示がありましたが、展示後は収蔵資料になりましたか。

横内主査 資料館寄託となり資料館の収蔵庫で保存しています。

新井委員 版木の整理は、特別展の図録を以って報告ということですか。それとも、別に  
報告書を作成する計画はありますか。

横内主査 特別展の図録を以って報告となります。現在のところは、報告書を作成する計  
画はありませんが、ゆくゆくは作成したいと考えています。

新井委員 来年度以降、収蔵資料のデジタル化など DX 化の予定、予算化ありますか。  
図書館講座ではデジタル郷土資料を使用したとのことですが、資料館とはど  
のようなかわりですか。

横内主査 予定、予算化はありません。デジタル郷土資料は図書館が興した事業に合わ  
せてもらった形です。来年度の予定には挙がっていません。

新井委員 近年 DX 化が求められていく中で、収蔵資料のデジタル化を行っていく必要  
が出てくると思われます。予算化などが難しいのであれば、他の事業に乗っか  
っていくことも一つだと思います。

島村委員長 様々なご意見ありがとうございます。一度ここで区切らせていただきまして、  
次の議題に移りたいと思います。次の議題は新規指定文化財候補についてで  
すが、第2回で調査を行いました東叡原獅子舞の調査結果が中心と思われま  
す。事務局より説明をお願いします。

事務局 **【東叡原獅子舞の調査結果説明】**

島村委員長 東叡原獅子舞の調査結果を踏まえて、何かご意見のある方はいらっしゃいま  
すか。

青木委員 追加調査で確認した万灯の赤幕ですが、どのようなものですか。

横内主査 二つあるうちの一つは、関係者の方が中国を訪れた際に、現地で購入したも  
のと伺っています。昭和60年代のものと考えられます。どこでいつ購入したの  
かは不明です。もう一つは調査確認中です。

島村委員長 笛方の笛が寄贈されたとのことですが、獅子舞の笛方は何人ですか。

横内主査 3～4人です。寄贈いただいた笛は笛方を指導されていた方が持っていたも  
のです。そのお家には、指導されていた方の演奏を録音したテープが残ってい  
るとかかっていますので、今後調べてまいります。

中村委員 笛方が4名なのは踊方が4名あり、それぞれ笛方がつくためです。一曲ずつ笛  
方が踊り方に教えるという形でした。

新井委員 将来的に、残ったテープや映像、音源などや道具などから獅子舞を復活させる  
事やその可能性はあるのでしょうか。

中村委員  
新井委員  
横内主査  
島村委員長  
横内主査  
新井委員  
島村委員長  
荒木委員  
島村委員長  
荒木委員  
中村委員  
島村委員長  
横内議員  
島村委員長  
荒木委員  
中村委員

そういった話は出ておりません。

映像が残っていたとしても、映像を見ながらどこまで再現できるのかという問題があります。文化庁などはそういった無形文化財の映像を撮る際に、引きで全体の画像だけでなく、手元など細かく複数の面角から映像を残すことを行っています。そのような映像を残さないと、一度途絶えたものを復活させることはできないでしょう。もし、将来的に復活させる考えがあるのであれば、そういった映像の撮り方をして残すことを考えた方が良いでしょう。

編集された映像だけだと難しいですが、東叡原の獅子舞はそのような映像はありますか。

映像記録を作成した際の編集前のテープがあります。

そのテープなどはデータとして残っていますか。

データとしては残っていません。見られる状態かも含めて確認いたします。

VHS などのテープは劣化してしまうと、映像を見ることができなくなってしまいます。早急に対応をした方が良いでしょう。また、DVD などに焼き直しするなどしないと、その記録媒体を映し出す機械もなくなってきます。見られなくなる前に対応が必要でしょう。これは音源も同じくです。

獅子舞の話が出ましたが、今現在で舞を踊ることができる人はいますか。

しばらく獅子舞を行っていないため、舞を踊ることのできる人はほとんどいない。

須賀中学校のクラブ活動で、獅子舞を踊ることがありましたが、その方たちは難しいですか。

久しく前なので、難しいと思います。

子供の獅子と大人の獅子とでは、舞の所作が細かいところで異なります。

どのような方向で、東叡原の獅子舞の道具の指定について決めていくのか定めていくことも必要です。近隣で獅子舞がなくなり別の形で指定しなおしたところはありますか。

近隣の自治体で該当例があるとあります。

今回の会議で結論を出すわけではありませんので、引き続き来年度の検討事項としたいと思います。続いて来年度の事業ということで、来年度の会議に向けて新規指定の文化財関係で、天然記念物や緊急性の高い検討事項がありましたら、挙げていただきたいと思います。

以前の会議で西光院の「逆さ菩提樹」の話を挙げましたが、その後に現地を調べたところ、樹影が変わったと思われます。脇からのひこばえが成長し、大きくなっていると思われます。

身代神社の拝殿の改修工事があると聞いています。拝殿と本殿をつなぐ屋根に、枝が落ち、雨漏りしていたとのこと。

青木委員 社社の調査などが必要になるかもしれません。

新井室長 現在、須賀小学校の適正配置について検討が行われているところです。検討段階ではありますが、和戸公民館の機能を複合する総合的な建物にする、校舎そのものを建て替えるという案もあります。須賀小学校の校庭には、指定候補のカエデとカヤがあります。これらの場合によっては配置換えなど行う可能性もあります。これらを守っていくということであれば、保護委員会からの提言なども行うことができるかと思われませんが、いかがでしょうか。

荒木委員 かなりの老木で動かしてしまうと、枯れる原因になると思われます。

島村委員長 とある学校の事例だと、保存した並木が、環境が変わって枯れてしまい、安全管理の問題からすべて伐採になってしまったということもあります。

新井室長 安全管理を優先させて、結果的には伐採となる可能性も十分あると思われま

新井委員 文化財側からの提言というわけではなく、OB・OGからの発言でないと難しいと思われま

長谷川委員 今年が学制150周年に当たります。その観点から見ることでもできるでしょう。適正配置によって須賀小学校に和戸公民館の機能を複合し、和戸公民館がなくなると、敷地内にある「旧須賀村役場門柱」にも目を向ける必要があります。門柱はあの場所にあるからこそ意味があるものなので、動向には注意が必要かと思われま

新井委員 百間小学校のすべり台が指定候補に挙がっていますが、すべり台は現在、国の登録有形文化財となっています。登録よりも指定のほうが上位に置かれているため、指定を行うと登録は解除になってしまいます。解除をしない方向にもできるようですが、そこが難しいところかと思いま

横内主査 指定としてしまうと保護を念頭に置かなくてはなりません。児童に使って遊んでもらうことを考えると、今はまだ、指定ではなく登録がよろしいかと思われま

島村委員長 東武動物公園駅の東口の開発が行われていますが、何か影響はありますか。

横内主査 弁天社がなくなるとのことで、神様は姫宮神社境内に移りました。文化財案内板を設置していましたが、撤去いたしました。

境内にありました桜花碑を資料館の敷地に移設しました。桜花碑は大正期に住民が古利根川沿いに桜を植えたという町の歴史を表す貴重な資料ですので、指定文化財の候補としても良いと思われま

新井委員 道仏付近の姫宮落川の桜は伐採が進められているのですか。

横内主査 道仏橋から下流域が伐採されました。一部はまだ残っています。

新井委員 指定文化財ということではないですが、国の登録制度として「景観」という要素があります。歴史文化的景観というのも視野に入れてみていくことも必要かと思われます。

横内主査 景観としては笠原沼の新田開発に伴う、関柵や分水といった設備が形を変えつつも残っています。そのようなもの含めて考えていけると思われます。

新井委員 新しい村には「ホツツケ」なども復元されていますから、それらも絡めていけると良いと思います。

島村委員長 新規指定に関して様々なご意見が出たと思います。引き続き検討を重ねていきたいと思われます。他に無いようなので、事務局にお返ししたいと思われます。

【会議終了】